



ONOKEN 

2021年3月期 第1四半期決算説明資料

小野建株式会社

- 1** 2021年3月期1Q連結決算の総括、連結損益計算書、販売管理費
- 2** セグメント別業績、連結貸借対照表
- 3** 品種別販売状況、品種別販売・在庫推移、建機商品・工事売上金額の推移
- 4** 小野建の取り組み、設備投資
- 5** 株主還元、新型コロナウイルスの影響と今期業績予想について

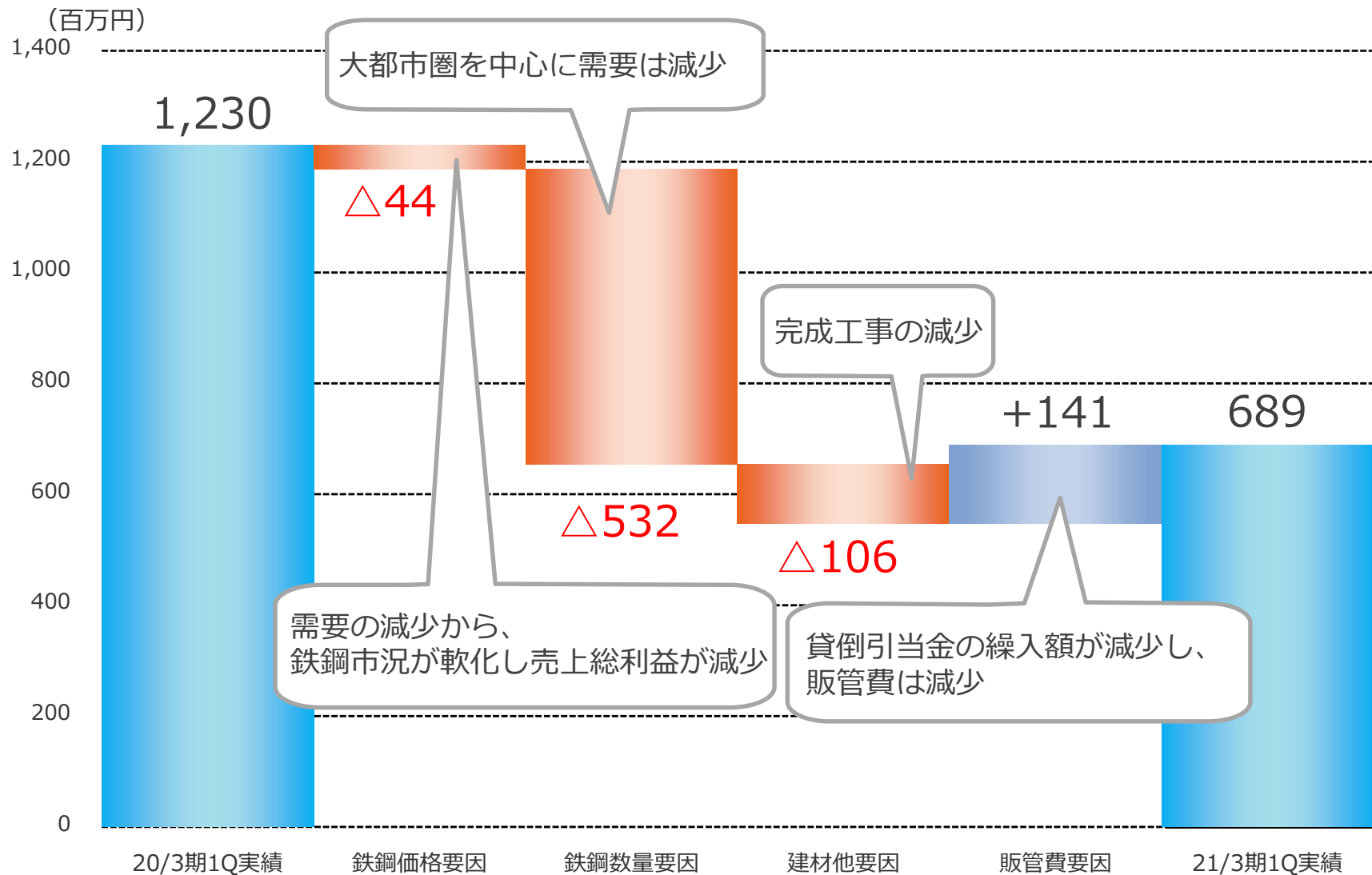
将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2021年3月期1Q総括 前々期および前期との差異（連結）

	19/3期 1Q実績	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	(百万円)	
				前期比	
				増減	増減率
売上高	51,880	54,744	46,237	△ 8,507	△ 15.5 %
売上総利益	4,804	4,589	3,907	△ 682	△ 14.9 %
営業利益	1,059	1,230	689	△ 541	△ 44.0 %
経常利益	1,104	1,288	765	△ 523	△ 40.6 %
親会社株主帰属 当期純利益	735	885	498	△ 387	△ 43.7 %

2021年3月期1Q総括 営業利益/前年同期比変化要因（連結） **ONOKEN**



損益計算書（連結）

	19/3期 1Q実績	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	(百万円) 前年比 増減率
売上高	51,880	54,744	46,237	△ 15.5 %
売上原価	47,075	50,155	42,330	△ 15.6 %
売上総利益	4,804	4,589	3,907	△ 14.9 %
販売費及び一般管理費	3,745	3,359	3,217	△ 4.2 %
営業利益	1,059	1,230	689	△ 44.0 %
営業外収益	67	84	95	+ 13.1 %
営業外費用	21	26	19	△ 26.9 %
経常利益	1,104	1,288	765	△ 40.6 %
特別利益	17	12	0	—
特別損失	0	0	25	—
税引前当期純利益	1,122	1,300	739	△ 43.2 %
法人税等合計	387	415	241	△ 41.9 %
親会社株主当期純利益	735	885	498	△ 43.7 %

販売管理費（連結）

(百万円)

	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	前年比増減
販売費及び一般管理費	3,359	3,217	△ 4.2 %
運賃	1,069	1,007	△ 5.8 %
貸倒引当金繰入額	20	△ 47	—
人件費	1,238	1,204	△ 2.7 %
租税公課	135	124	△ 8.1 %
減価償却費	317	382	+ 20.5 %
その他	580	547	△ 5.7 %
売上原価内の減価償却	130	122	△ 6.2 %

- ・ 販売数量の減少に伴い運賃の減少
- ・ 前期発生した貸倒引当金繰入額の戻入
- ・ 減価償却費は加工設備増強並びに南福岡営業所新設のため増加

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		19/3期 1Q実績	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	在庫評価損
九州・中国 エリア	売上	27,927	31,746	27,903	
	利益	849	792	620	(△ 33)
関西・中京 エリア	売上	13,298	12,699	9,567	
	利益	393	201	73	(△ 9)
関東・東北 エリア	売上	10,655	10,298	8,766	
	利益	△188	175	△51	(△ 56)

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

貸借対照表（連結）

※主要項目のみ記載しております

	20/3期 実績	21/3期 1Q実績	増減	増減率 (百万円)
流動資産	100,013	92,763	△ 7,250	△ 7.2 %
現金及び預金	5,292	5,264	△ 28	△ 0.5 %
受取手形及び売掛金・電子記録債権	62,791	56,082	△ 6,709	△ 10.7 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	21,411	17,645	△ 3,766	△ 17.6 %
前渡金	10,382	13,483	+ 3,101	+ 29.9 %
固定資産	53,584	54,696	+ 1,112	+ 2.1 %
有形固定資産	50,911	52,029	+ 1,118	+ 2.2 %
資産合計	153,598	147,459	△ 6,139	△ 4.0 %
流動負債	75,628	70,293	△ 5,335	△ 7.1 %
支払手形及び買掛金・電子記録債務	41,766	36,166	△ 5,600	△ 13.4 %
短期借入金	22,250	19,400	△ 2,850	△ 12.8 %
前受金	6,170	10,032	+ 3,862	+ 62.6 %
固定負債	7,809	7,171	△ 638	△ 8.2 %
社債	6,029	6,027	△ 2	△ 0.0
長期借入金	34	24	△ 10	△ 29.4 %
負債合計	83,437	77,465	△ 5,972	△ 7.2 %
株主資本	70,077	69,836	△ 241	△ 0.3 %
純資産合計	70,160	69,994	△ 166	△ 0.2 %
負債・純資産合計	153,598	147,459	△ 6,139	△ 4.0 %

品種別販売状況（小野建単体）

（百万円・千トン・％ 単価は円/Kg）

		19/3期 1Q実績		20/3期 1Q実績		21/3期 1Q実績		前年比 増減率
鉄鋼商品販売事業	鋼板類売上高	13,504		14,293		11,970		△ 16.3 %
	販売数量・単価	158	85.47	167	85.59	156	76.73	△ 6.6 %
	売上総利益	1,105		975		885		△ 9.2 %
	利益率	8.2		6.8		7.4		+ 0.6 P
	条鋼類売上高	19,163		19,186		15,473		△ 19.4 %
	販売数量・単価	193	99.29	181	106.00	157	98.55	△ 13.3 %
	売上総利益	2,097		1,916		1,622		△ 15.3 %
	利益率	10.9		10.0		10.5		+ 0.5 P
	丸鋼類売上高	7,315		7,521		6,306		△ 16.2 %
	販売数量・単価	102	71.72	99	75.97	92	68.54	△ 7.1 %
	売上総利益	355		340		298		△ 12.4 %
	利益率	4.9		4.5		4.7		+ 0.2 P
小計	売上高	39,982		41,000		33,749		△ 17.7 %
	販売数量・単価	453	88.26	447	91.72	405	83.33	△ 9.4 %
	売上総利益	3,557		3,231		2,805		△ 13.2 %
	利益率	8.9		7.9		8.3		+ 0.4 P

品種別販売状況（小野建単体）

(百万円)

		19/3期 1Q実績	20/3期 1Q実績	21/3期 1Q実績	前年比 増減率
販売事業 建材商品	建設機材商品売上高	2,623	3,409	2,996	△ 12.1 %
	売上総利益	166	165	144	△ 12.7 %
	利益率	6.3	4.8	4.8	± 0 P
工事事業 工事請負	工事請負売上高	6,028	6,769	5,605	△ 17.2 %
	売上総利益	391	555	282	△ 49.2 %
	利益率	6.5	8.2	5.0	△ 3.2 P
貸等事業 不動産賃貸	その他事業収入	189	187	171	△ 8.6 %
	売上総利益	124	115	112	△ 2.6 %
合計	売上高	48,822	51,365	42,521	△ 17.2 %
	売上総利益	4,238	4,066	3,343	△ 17.8 %

- ・ 工事請負分野は、完成工事が減少したことにより減収
現在着工中案件は順調に進行し、大型案件の受注残もあるものの、
中小型案件の着工の延期並びに新規案件の引合いは減少気味

◆全業種（特に鉄骨加工など）において人手不足

素材購入→部品購入→溶接組立加工

●当社の取り組み

- ・物流拠点の新增設の推進
- ・取引先のニーズ多様化に対応し
素材販売→一次加工品（切断・穴あけなど）販売強化
在庫品種並びに新增設を含め加工設備を拡充
- ・鋼板加工分野にも着手

◆運転手不足・燃料高騰による物流コストの上昇

●当社の取り組み

- ・福岡、大阪、東京（浦安・川崎）などの中心的物流センターを活用し
周辺地域の物流センターの展開によるジャストインタイムでの納入体制を強化
- ・自前でのトラック便の拡充

◆建材メーカーの体制変化

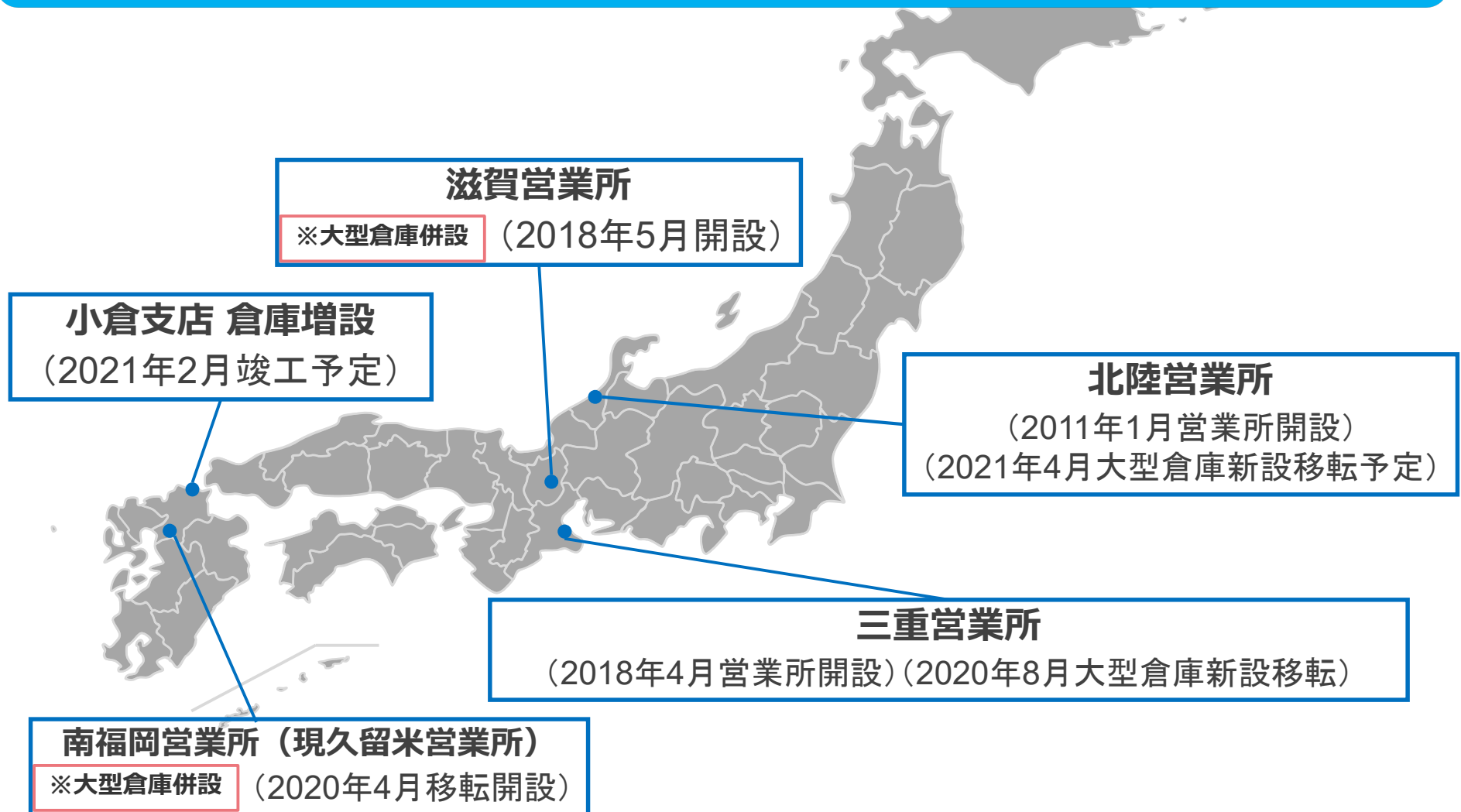
メーカーの工事一式請負から材料販売へシフト

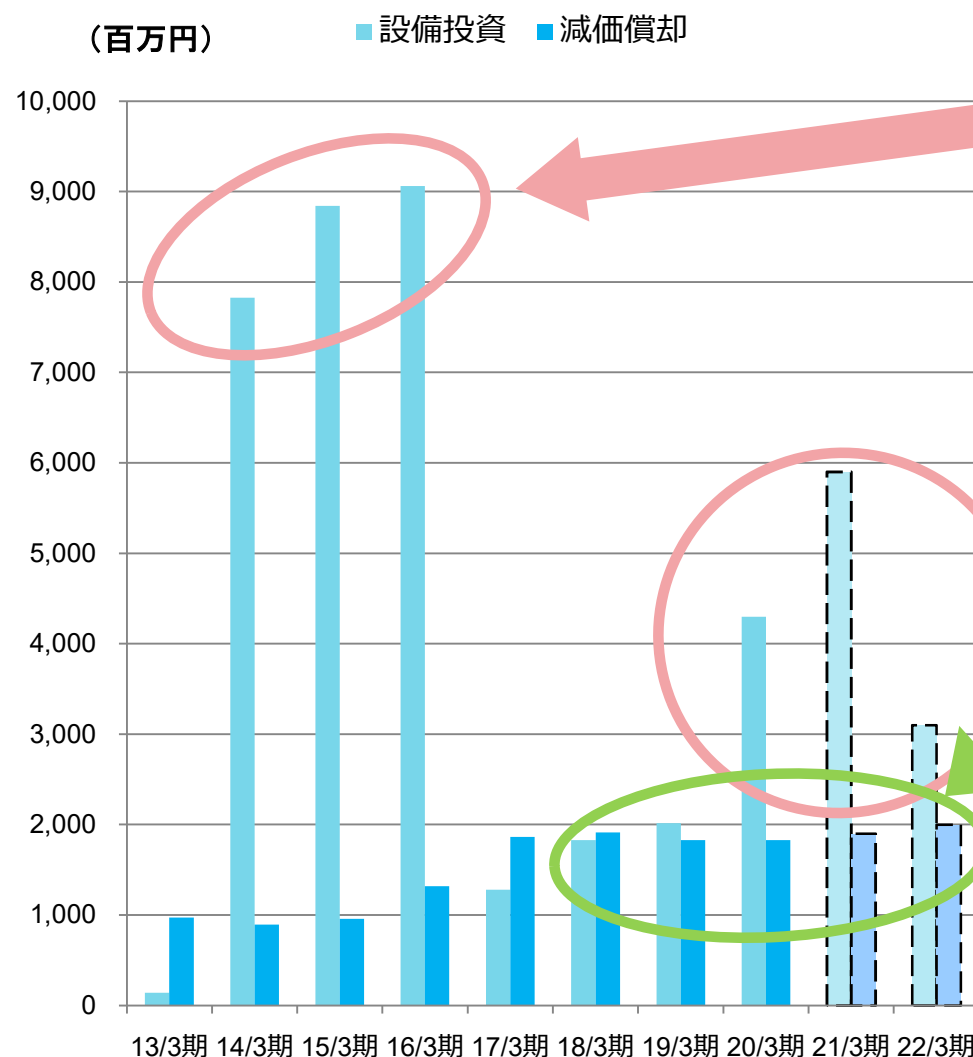
●当社の取り組み

- ・専門工事技術者及び施工監理技術者の養成強化（現在監理技能者99名）
- ・販売先でもある鉄骨加工業者とネットワークを作り、鉄骨工事請負の拡大
- ・その他工事請負業務の拡大

直近開設済み拠点並びに今後開設予定の物流センター

中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展する全国ネットワーク企業を目指す





・ 今後10年を見据えて3年間で約260億円の設備投資を実施

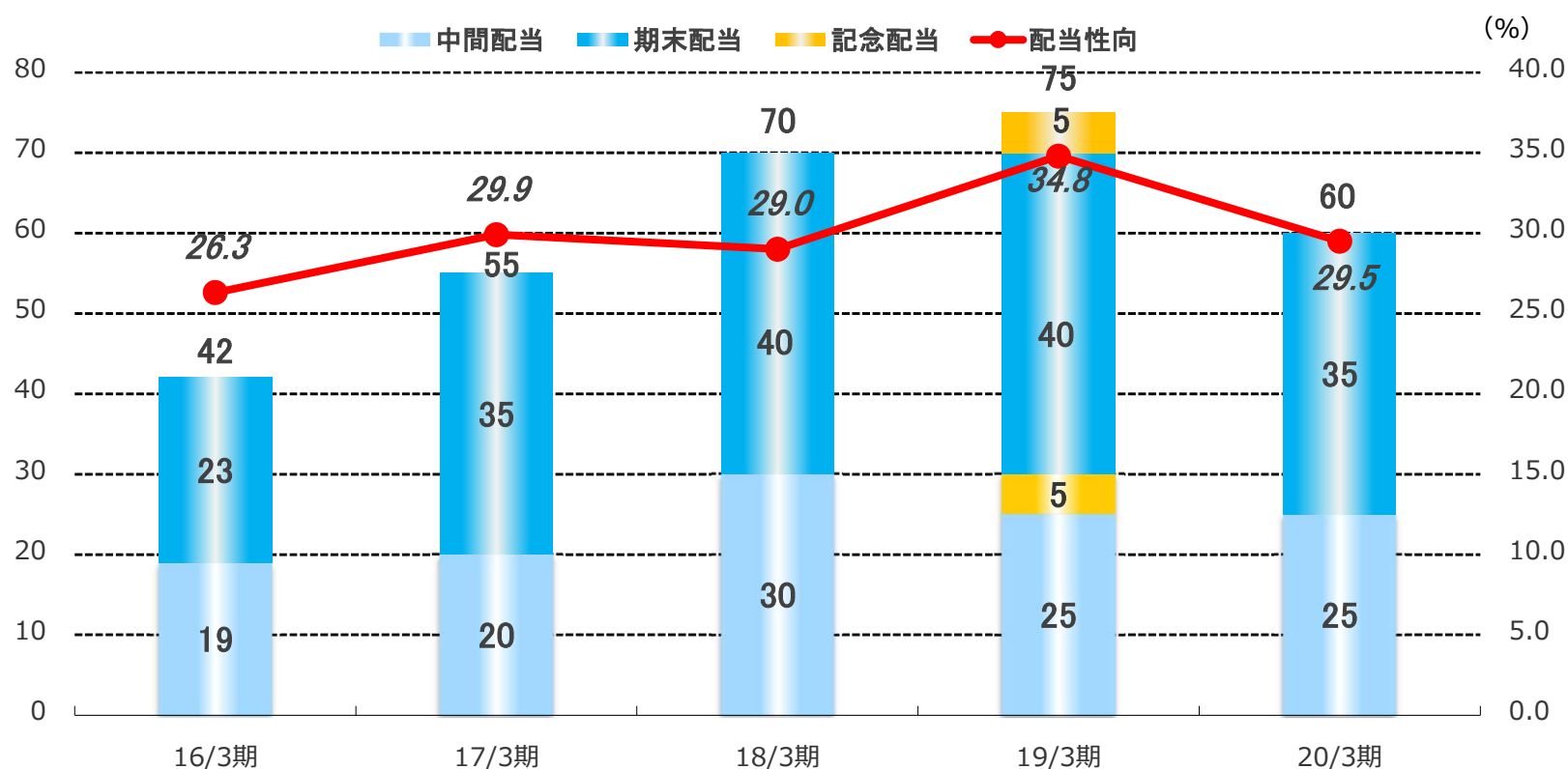
・ 16/3期で一段落したものの近年加工設備拡充のための設備投資金額が増加傾向

・ 減価償却費はほぼ横ばいで推移する予定



**加工設備の充実により
安定的な収益向上**

業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ 高い水準の利益還元を継続



◆輸出関連企業をはじめ販売先の業績低迷による販売の減少

- ・特に大都市圏での影響は甚大かつ長期化の様相

◆建設工事の中断、遅延ならびに中止

- ・インバウンドの減少により、計画中のホテルなどの着工延期、中止
- ・着工予定および着工済み大型案件は、ほぼ順調に進行
- ・公共工事は建築、土木ともに予定通りに発注見込み
特に災害復旧関連は、早期発注見込み
ただし、コロナ禍で学校関連新築・改築工事は遅れが目立つ

◆鉄鋼商品市況の需要低迷による下落

- ・前期から市況は軟調に推移しており、今後も需要が低調に推移することから市況の下げ止まり感は乏しい

◆不良債権発生リスクの増大

上記状況の中で、現時点において新型コロナウイルス感染症の第2波が発生するなどにより業績への影響を見通すことが困難であるため、連結業績予想につきましては、未定としております。

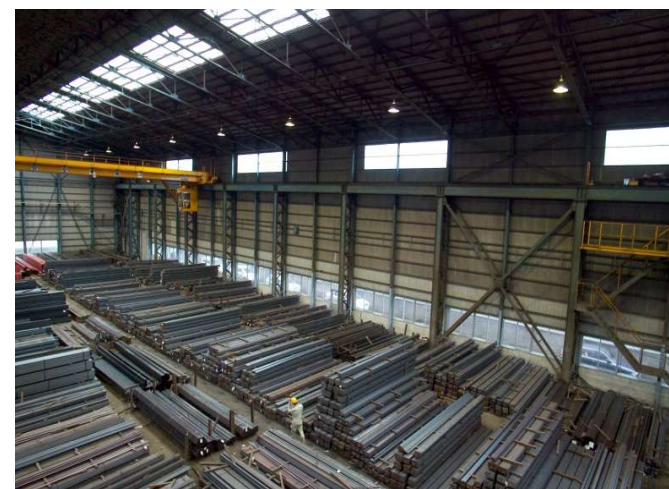
今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示致します。



商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
資本金	42億9,980万円
連結売上高	2,292億9,000万円
従業員	757 人(連結)
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
業種	鉄鋼・建材流通商社
主な事業内容	鋼材の販売・加工 土木建築材料の販売 土木建築工事の請負



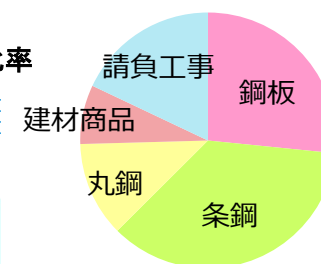
小野建株式会社本社 小倉支店



小倉支店 倉庫内

取扱品種

売上比率

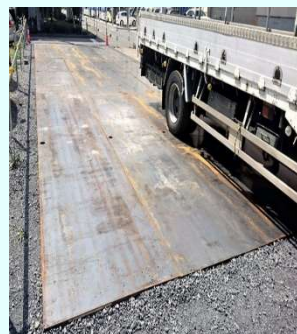


建材商品

鉄鋼商品

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に使われる



条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に
成形したもの
建物の骨組等に使われる



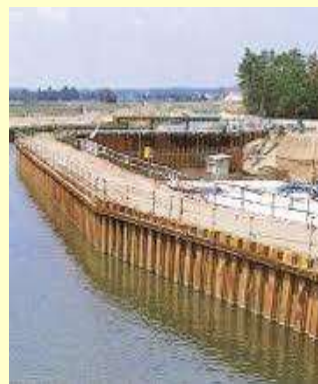
丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に使われる



建材商品

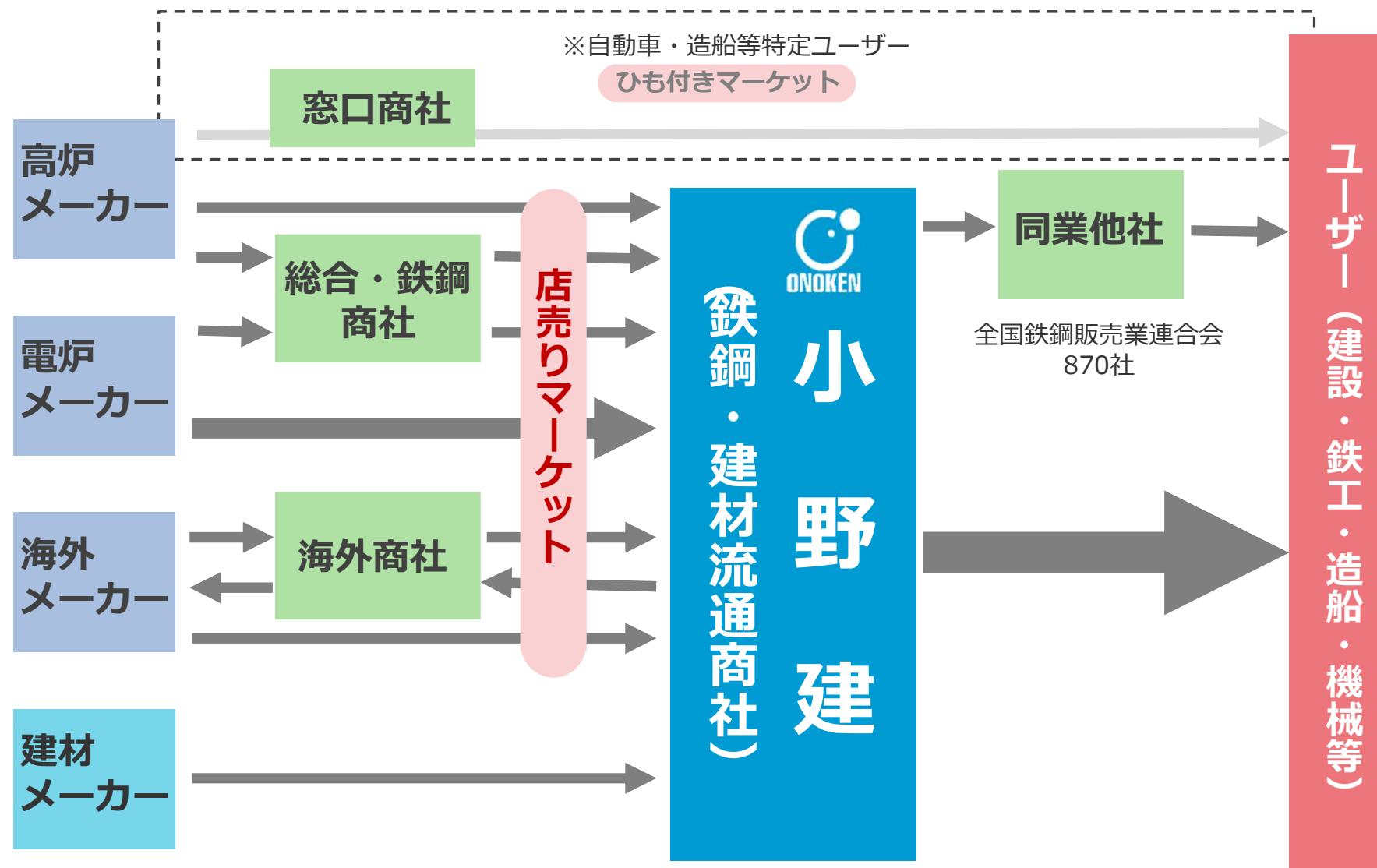
土木・建築工事に
使用される材料
鋼矢板・屋根・
フェンス・サッシ
等
写真はフェンス、
鋼矢板



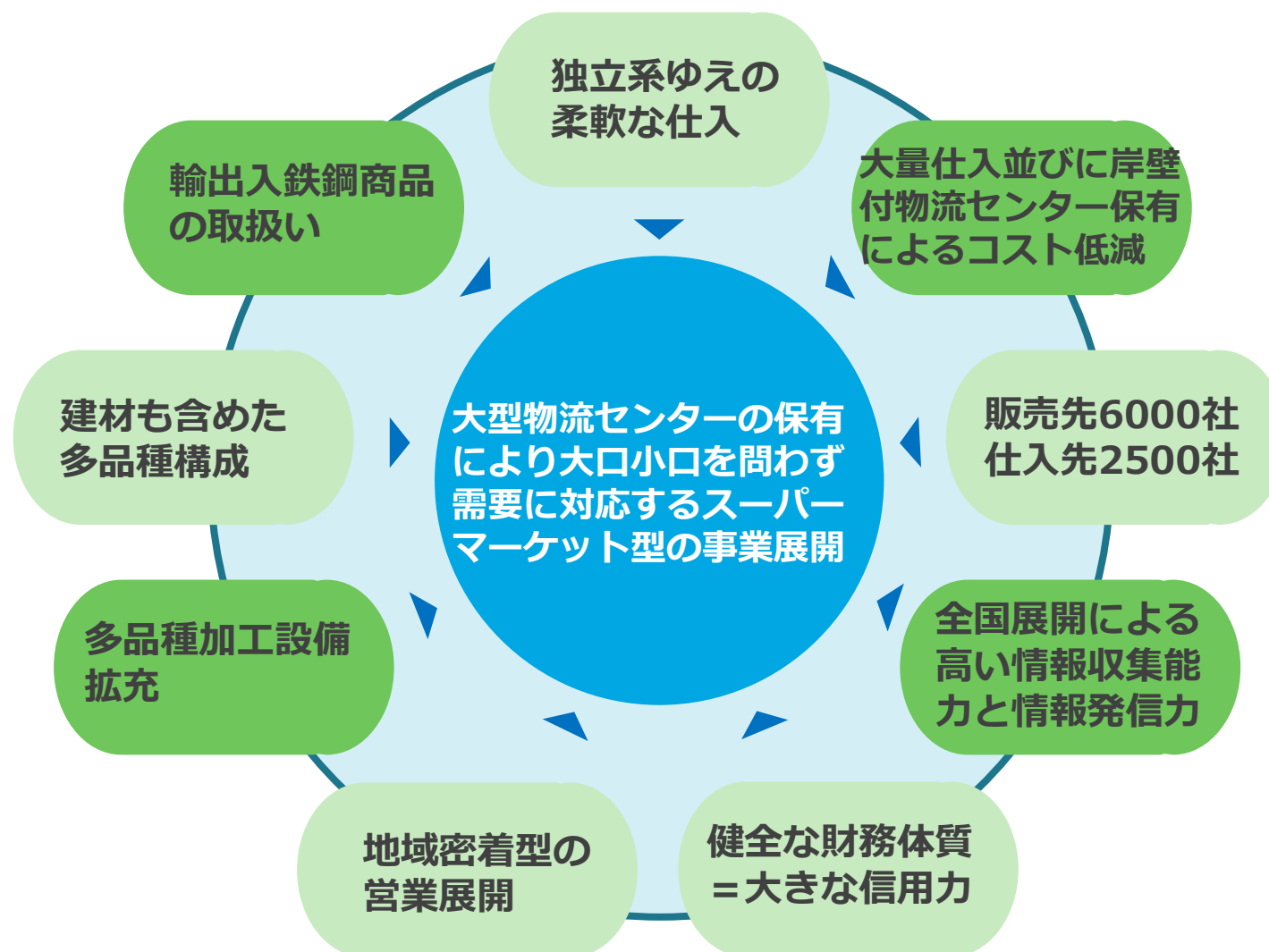
工事請負

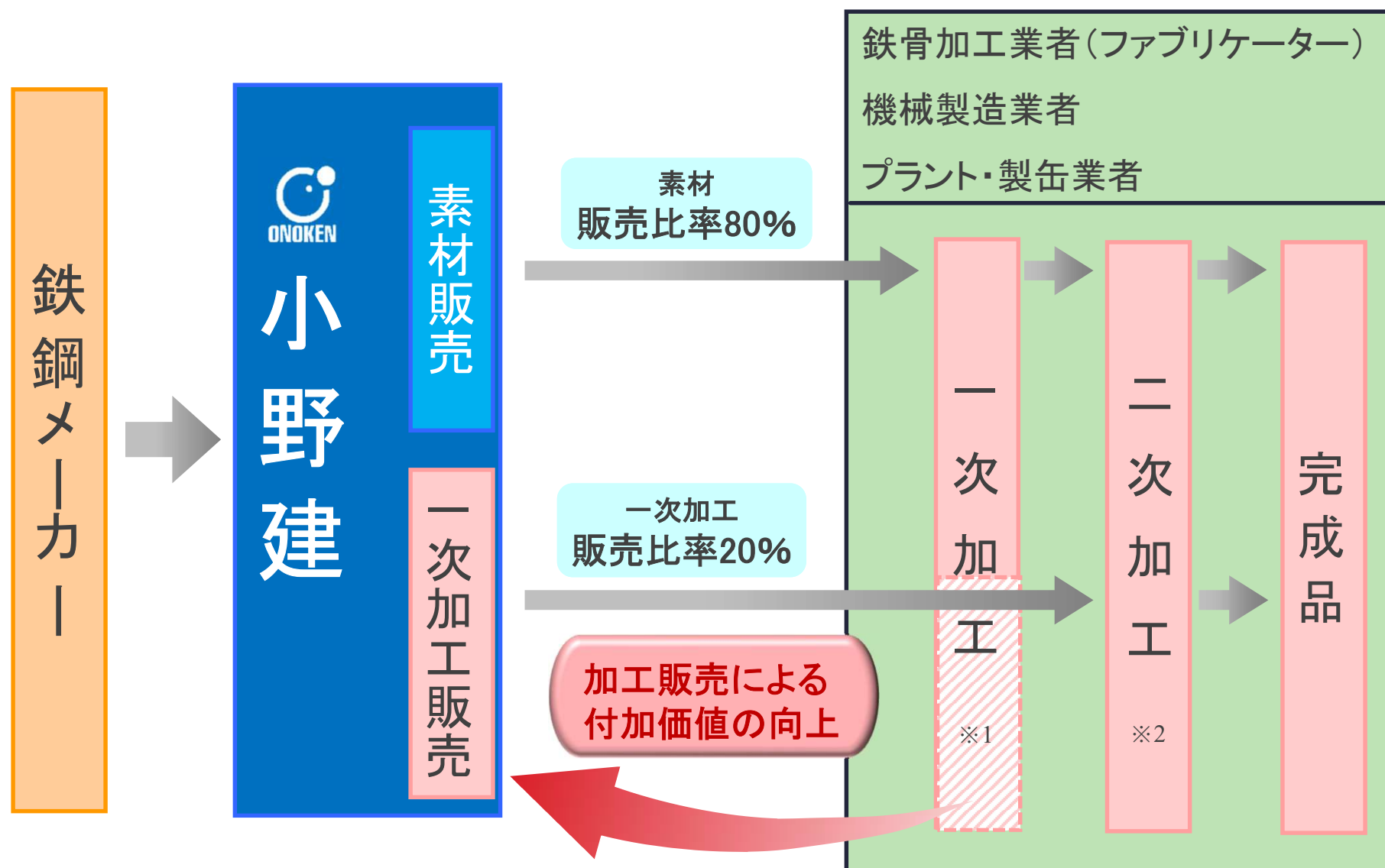
鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事
杭工事 など





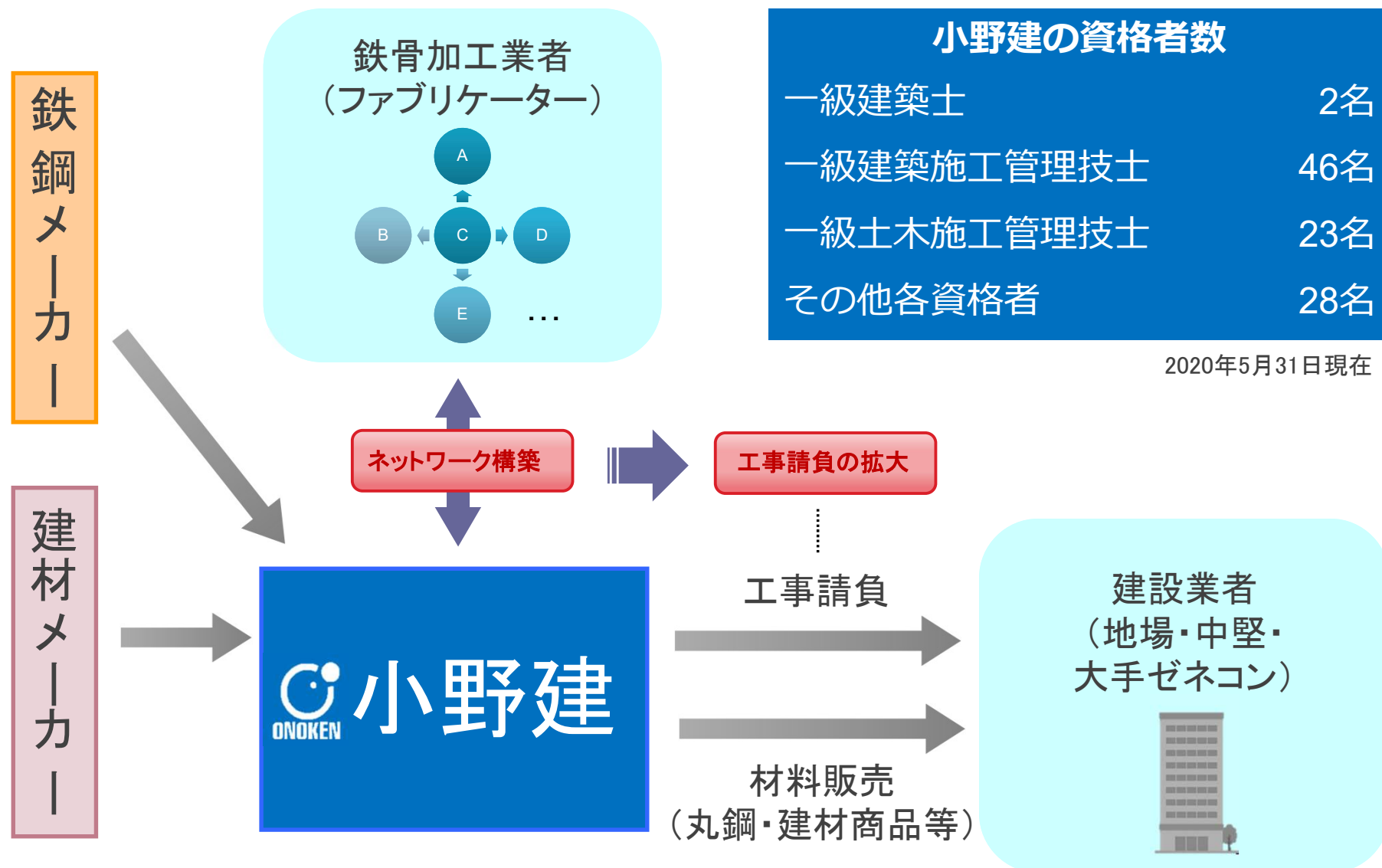
物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」





※1一次加工・・・素材を販売ニーズに合わせ、切断・穴あけ等の加工

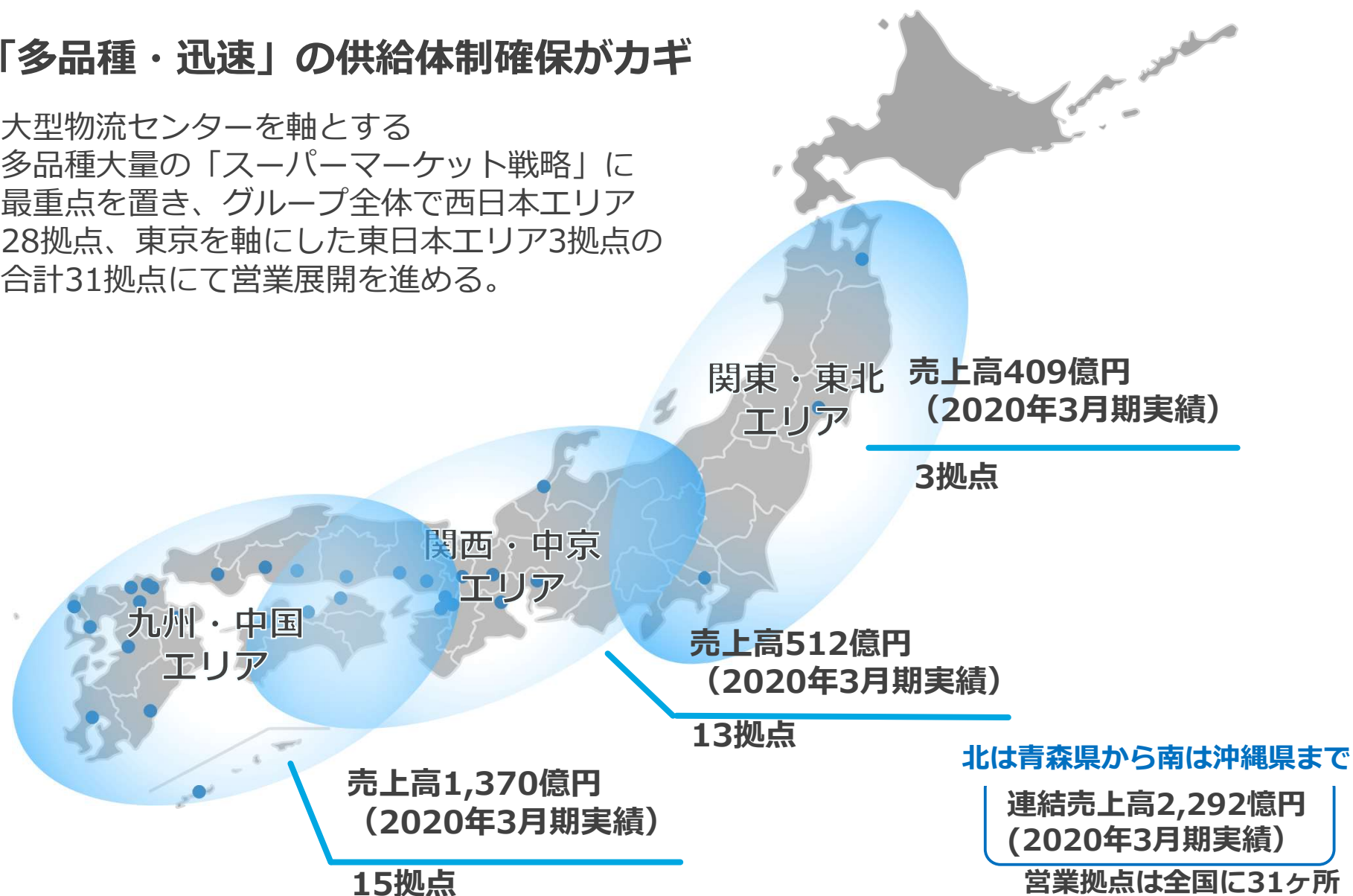
※2二次加工・・・一次加工品に組立・溶接・塗装等の加工

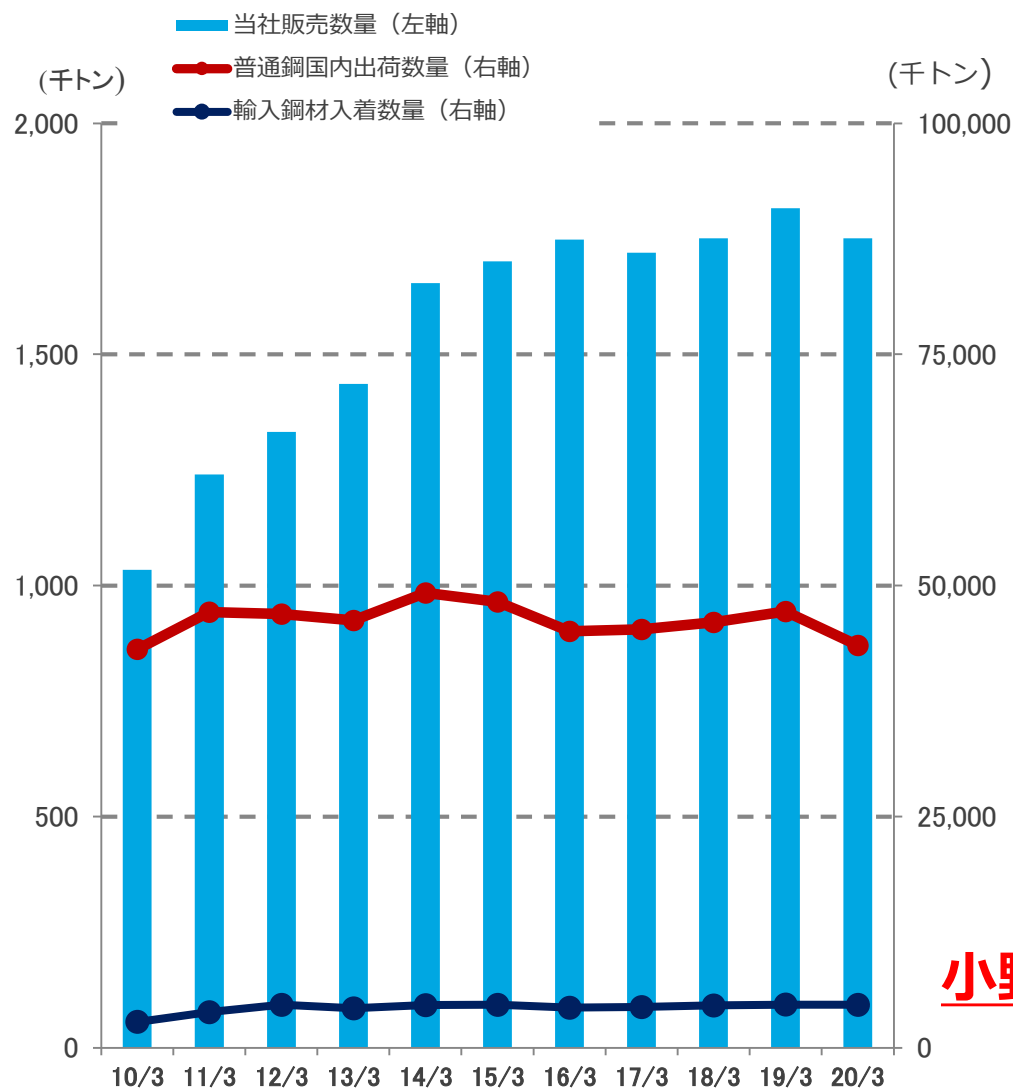


全国にネットワークを展開

「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

大型物流センターを軸とする
多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に
最重点を置き、グループ全体で西日本エリア
28拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の
合計31拠点にて営業展開を進める。





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

市場との比較

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国と同業者約700社の中でトップシェアながら現在3%程度
今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

今後人口減少等により市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして勝ち残りへ

● 付加価値の向上の為、加工設備の拡充と物流センター新設の促進

- 加工商品販売に注力し、今後販売比率を高め、他社との差別化と収益率アップを目指す

● 工事請負の拡大

- 鉄骨加工業者とのネットワーク構築の推進
- 施工管理者の育成強化
- 技術集団(職人等) の育成強化



同業他社との差別化と収益向上を目指す